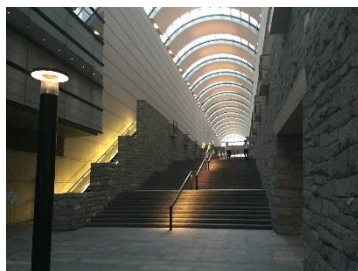


山根一仁さん応援レポート 第26回出光音楽賞 受賞者ガラコンサート 2016年7月19日(火) 東京オペラシティコンサートホール

第26回出光音楽賞受賞を記念して

『出光音楽賞』。1990年に創設された出光興産株式会社主催の音楽賞(テレビ朝日後援)。主にクラシックの音楽活動を対象に、育成という観点から意欲、素質、将来性などに重きを置いて、新進の音楽家を顕彰してきている。今回第26回の受賞者は川瀬賢太郎氏(指揮)、薮田翔一氏(作曲)と山根さんの3名。

本日は「受賞者ガラコンサート」。授賞式とともに、受賞者による演奏が披露される。山根さんはショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲1番から第3楽章、第4楽章を披露してくれる予定だ。



第26回
出光音楽賞
受賞者ガラコンサート
2016年7月19日(火) 開演18:45(開場17:45)
東京オペラシティコンサートホール (有線放送)

―― 演奏曲目 ――
川瀬 賢太郎(指揮) / モーリッツ 交響曲第3番 変奏曲 op.57 (19世紀) 指揮者
山根 一仁(ヴァイオリン) / ショスタコーヴィチ ヴァイオリン協奏曲第1番 (1947年) 演奏者
指揮: 川瀬 賢太郎 管弦楽: 横浜シンフォニエッタ 主催: 出光音楽賞実行委員会

川瀬 賢太郎(指揮)
指揮者
山根 一仁(ヴァイオリン)
演奏者

出光音楽賞
「出光音楽賞」は出光興産株式会社主催の音楽賞(1990年創設)。主にクラシックの音楽活動を対象に、育成という観点から意欲、素質、将来性などに重きを置いて、新進の音楽家を顕彰してきている。今回第26回の受賞者は川瀬賢太郎氏(指揮)、薮田翔一氏(作曲)と山根さんの3名。

★入場券で希望の座席は着席に使用(氏名も記入の上、下記電話番号に申し込み、当日開演17:45着席)
〒106-8001 テレビ朝日「出光音楽賞」係
TEL:03-3234-9999
公演の情報は「テレビ朝日」や「www.tv-asahi.co.jp」でご確認ください。

会場は東京オペラシティコンサートホール。現代の最新音響技術を用いて設計されたコンサート専用ホールである。「ホール自身が巨大な楽器となり、引き締まった低音とメロデーで艶のある音色を奏でる」と、響きの良さには定評がある。

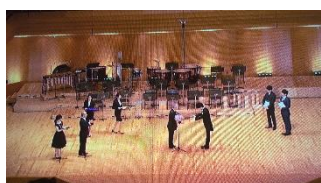
タクトを振るのはもちろん川瀬賢太郎氏。管弦楽は横浜シンフォニエッタのみなさんだ。1998年、「TOMATOフィルハーモニー管弦楽団」として東京藝術大学学内にて創立。後に「横浜シンフォニエッタ」へと改称、横浜に活動拠点を置くプロフェッショナルオーケストラとして国内外で活発な演奏活動を展開している。

自由に若々しく。自分の音楽を伝える



授賞式ののち、始まりは川瀬賢太郎氏。司会の池辺晋一郎氏から、「仲間と一緒に。いい音楽と一緒に作ろうとし、それを聴き手に伝えることのできる方」とのご紹介。モーツァルトの歌劇「フィガロの結婚」序曲と、シューマンの交響曲第3番 変ホ長調op.97「ライン」より第1楽章が奏でられる。若さあふれるエネルギッシュで温かみのあるタクト。来年でデビュー10周年を迎えるという川瀬氏、「…指揮者は、自分で音を出すわけではない。オーケストラというプレーヤーがいて、はじめて成り立つ。これまで共演してくださった日本各地のオーケストラの方々に感謝の気持ちでいっぱいです」とのコメント。

次の曲は薮田翔一氏作曲の「風神雷神」。ソプラノとピアノも加わり、ドラマティックな音楽が披露される。「…今後は次の世代の人達に現代音楽を伝えていきたい」との受賞の言葉。



プログラムラストは山根さん。本日の演奏はショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲第1番の第3楽章、第4楽章。「…この曲はヴァイオリンを始めるきっかけとなった曲です」と、ご本人。5歳くらいのときに、TVから流れるこの曲にあわせて、踊っていたのだとか。「梅檀は双葉より芳し」といったところでしょうか(古いですか?)。

司会の池辺氏からは、「まさに現代っ子。自由さ、のびやかさが素晴らしい。『好きな曲を好きなように演奏してきたらこうなりました』といったような…」
「…日本にも新しい時代がきたなと感じています。これまでは、どちらかというと『こうでなくてはならない』という雰囲気でした。ですが、『こうでなくてもいいだろう』という音楽を奏でる世代が台頭してきました。日本の音楽にたくさんの可能性が生まれつつあります。目路はるか、遠くを見据えて音楽を作り上げていく世代の誕生です」と、うれしいご紹介をいただいた。

「…留学生活、様々な経験を積ませていただいています。『音を楽しむ』ということ大切にしながら、音楽家としての人生を続けていきたいと思っています」と、山根さんのコメント。

ショスタコーヴィチを、自在に奏でる。カデンツァの独奏もぐっと聴かせ、情熱的な演奏に客席から万雷の拍手が贈られた。

写真: ホワイエ設置のモニター画像を撮影したもの。リハーサル風景は横浜シンフォニエッタSNSより借用

栄誉ある受賞。20歳という節目の歳に



左から、
薮田翔一氏、
川瀬賢太郎氏、
山根さん

会場をバンケットルームに移し、レセプションが行われた。
受賞者による挨拶では、
「...このような栄誉ある賞を20歳という
節目の歳にいただけて本当に感謝しております」と山根さん。
「出光は、幼いころ、自宅近くにガソリンスタンドがあり、給油といえば出光でした...」とお茶目なコメントも。

過去の受賞者には、2013年の黒川侑さんはじめ、声楽部門、器楽部門奨学生の方々の名前も。栄えある賞をいただいて、さらなる飛躍が期待される。



なお、当日のコンサートの模様は、
「題名のない音楽会」で下記の予定で
放映される；

2016年9月4日(日)9:00～9:30テレビ朝日
2016年9月11日(日)23:00～23:30 BS朝日

山根さん、素敵な演奏でした。
また聴かせてください！



《演奏会概要》

◆出演

山根一仁(ヴァイオリン)
川瀬賢太郎(指揮)
薮田翔一(作曲)
横浜シンフォニエッタ(管弦楽)

司会:

池辺晋一郎
松尾由美子(テレビ朝日アナウンサー)

◆プログラム

川瀬賢太郎(指揮):

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲
シューマン: 交響曲第3番 変ホ長調 op.97
「ライン」より第1楽章

薮田翔一(作曲):

演奏会用組曲「風神雷神」

ソプラノ: 半田美和子

ピアノ: 萩原麻未

山根一仁(ヴァイオリン):

ショスタコーヴィチ: ヴァイオリン協奏曲
第1番イ短調 op.77より第3楽章、第4楽章

第26回

出光音楽賞
受賞者ガラコンサート

2016年7月19日(火) 開演18:45(開場17:45)

東京オペラシティコンサートホール **入場無料**

演奏曲目

川瀬 賢太郎(指揮): モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」序曲/ シューマン 交響曲第3番 変ホ長調 op.97 「ライン」より 第1楽章

萩田 翔一(作曲): 萩田 翔一 演奏会用組曲「風神雷神」

山根 一仁(ヴァイオリン): ショスタコーヴィチ ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調 op.77より 第3楽章、第4楽章

指揮：川瀬 賢太郎

管弦楽：横浜シンフォニエッタ

主催：出光音率當実行委員会

※曲日の一部が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。



(Christine) Karpman

川瀬 賢太郎(指揮)

Kentaro Kawase

1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学・作曲専攻卒業(指揮)を卒業。これまでに、ピアノ及びスコア・ディレックを島田裕子、指揮を広上淳一、汐澤実希、ジョン・ジョンソン、アーリル・レンメウ等の各氏に師事。2006年10月に行われた東京国際音楽コンクール<指揮>において1位(最優秀)の2位(最高位)に入賞。

各地のオーケストラから次々に招きを受けている。2012年1月には、細川惟夫作曲・平田オリザ演出、オペラ「蒼女」広島公演で指揮し、オペラデビュー。その後、細川惟夫作曲モダンオペラ「大団」、オペラ「リアの物語」

海外においても2008年と2011年2月にイェル・ド・フランス国立オーケストラと共演。また、2012年10月にはユナイテッド・バイストゥル・メンバー・オーケストラと鯉川雄夫作曲モダンワ「大鵬」オランダ初演を成功させた。2015年9月にはひろしまオペラルネッサンス公演にてモーツァルト作曲オペラ「フィガロの結婚」を指揮、舞台費もふたつの演奏を助けた。

2007年～2009年パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)アシスタント・コンダクター。
現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者、神戸フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、八王子ユース弦楽アンサンブル音楽監督、三重県いなべ市親善大使。2015年「渡辺睦雄音楽基金」自決賞、第64回神奈川文化賞音楽賞を受賞。2016年第14回若狭県・エリカ賞と金賞受賞。



100

藪田 翔一(作曲)

Shoichi Yabuta

1983年兵庫県生まれ。17歳より作曲を始める。2011年東京音楽大学大学院作曲科修了。

2011年第87回日本音楽コンクール作曲部門2位入賞
これまで作曲者有馬礼子、桜庭富美子、西村朋、川原豊、飯塚邦彦の各氏に師事。
2009年第78回日本音楽コンクール作曲部門2位入賞
2010年第79回日本音楽コンクール作曲部門2位入賞
2011年トロロンビース・オブ・ザ・イヤー2011作曲賞
2011年第80回日本音楽コンクール作曲部門2位入賞
2011年とつ市の市民奨励賞

2012年京都フランスアカデミーメソリアン賞。
2012年第81回日本音楽エンケル作曲部門2位入賞。
2013年ウィーンコンチェルトハウス100周年作曲
最優秀作品賞(オーケストラ部門)

2013年ベルギー・SOCHOA国際作曲コンクール1位入賞
2013年ガブリユール・セザンヌ国際作曲コンクール3位入賞
2014年第3回クロアチア国際作曲賞 NEW NOTE2位入賞
2015年第70回ジュネーブ国際音楽コンクール作曲部門奨励

2015年天府市文化賞。
2015年兵庫縣芸術奨励賞。
2016年文化庁長官表彰(国際芸術部門)。
第2回文化財活用賞(文化財活用・活用促進部門)。

現代音楽界の作曲を中心に、2014年に兵庫県たつの市で開催された「薩野アトプロジェクト」で舞台監督を務め、2015年には「美空ひばり」2016年よりたつのみどり歌謡大賞1号に任命され、2016年5月より神戸新聞のコラム「随想」を執筆するなど、活動の場を広げている。2016年3月には、三木露園、中原中位、与那野晶子などの詩をもとに、CD「天女の歌」を代々木オーケストラ・管弦楽団の共演で録音し、これに力を入



1997, 1998, 1999, 2000, 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678, 26

山根 一仁(ヴァイオリン)

Kazuhito Yamane

1995年札幌市生まれ。2010年中学校3年7学期に第79回日本音楽コンクール第1位、レガティダ賞を受賞。東京音楽、岩谷音楽専門学校、レガティダ音楽学院で音楽を学ぶ。作品は国内外の放送局や音楽コンクールで演奏される機会に恵まれる。これまでにNHK交響楽団をはじめ国内主要オーケストラと共演を重ねる傍ら、ベルリンフィル、五重奏団、エル・ヴィンターゴとの共演、トッパノール・エル・マエストロ・シリズに属する中で独奏される機会に恵まれる。同・リゾーで2014年3月16日「7月号掲載Album」2015年7月25日「匿名アヴァンチュール・シンク・ジャコブ・グッ、ブヴァルディ」にともに在任中の音楽家としての現場を訪れた。19年16年にバーミンガム市交響楽団との共演が決定している。2015年・16年東京・名古屋・神戸・NHKホール・クラクフ・NHK-FM「藤井リョウとY&Y」匿名のない音楽家」等TV番組の出演による。

2010年横浜市教育委員会表彰。第60回横浜文化
育文化芸術活動賞音楽小受賞。岩崎時香音楽財
「Foundation for youth」受賞。2010年・12月
ヤマハ音楽振興会音楽支援対象者。2012年、13年
ローレミュージックファンデーション奨学生。現在江
詠会財団奨学生。2015年青山音楽賞新人賞受賞
これにて鼓笛同業、水野佐知香各氏、南出学園大
学バリエーションマウス（全編免除特待）にて鼓笛
部一員に就事。
現在ドイツ国立ミューンヘン音楽大学に在籍。クリス
トフ・バウマン、マルティン・シュルツと練習。

出光音楽賞

「**出光音楽賞**」は出光興産株式会社主催の音楽賞(1990年創設/テレビ朝日後援)で、主にクラシックの音楽活動を対象に、育成という観点から意欲、素質、将来性などに重きを置き、新進の音楽家を顕彰してまいりました。今年度の受賞者を含め94名、1団体が「**出光音楽賞**」を受賞し、それぞれの場をめざし活躍を続けております。

★入場券ご希望の方は往復はがきに住所・氏名をご記入の上、下記宛までお申し込み下さい。6月28日(火)必着。

〒106-8001 テレビ朝日「出光音楽賞」係

※このコンサートの模様は、9/4(日)あさ9:00よりテレビ朝日系「匿名のない音楽会」(提供:出光興産)で放映される予定です。

■入場券1枚につき2名様までご入場できます(未就学児の入場不可)

■返信はがきにも必ず住所・氏名をご記入ください。

■応募者多数の場合には抽選となります。
■お問合せ：チケットスペース 03-3234-9999

公演の情報は…<http://www.tv-asahi.co.jp/event/>



【コンサート・プログラム(P.1～4)】

出光音楽賞

「出光音楽賞」は出光興産株式会社主催の音楽賞(1990年創設/テレビ朝日後援)で、主にクラシックの音楽活動を対象に、育成という観点から、意欲、素質、将来性などに重きを置いて、新進の音楽家を顕彰してまいりました。
今回の受賞者を含めて94名・1団体が「出光音楽賞」を受賞し、それぞれの場でめざましい活躍を続けております。

第26回出光音楽賞受賞者 (五十音順)

川瀬 賢太郎
(指揮)

藪田 翔一
(作曲)

山根 一仁
(ヴァイオリン)

第26回出光音楽賞選考委員 (五十音順)

秋山 和慶
(指揮)

池辺晋一郎
(作曲)

石田 一志
(音楽評論)

海野 義雄
(ヴァイオリン)

木村かをり
(ピアノ)

木村 俊光
(声楽)

主催
出光興産株式会社

後援
テレビ朝日

運営主体
出光音楽実行委員会

Program

プログラム

「第26回出光音楽賞」授賞式

川瀬 賢太郎
(指揮)
Kentaro Kawase

モーツァルト: 歌劇「フィガロの結婚」序曲
シューマン: 交響曲第3番 変ホ長調 op.97 「ライン」b♭ 第1楽章

休憩

藪田 翔一
(作曲)
Shoichi Yabuta

ソプラノ 半田美和子/ピアノ 萩原麻未(第22回出光音楽賞受賞)
藪田翔一: 演奏会用組曲「風神雷神」

山根 一仁
(ヴァイオリン)
Kazuhiro Yamane

ショスタコーヴィチ: ヴァイオリン協奏曲第1番 短調 op.77より 第3楽章、第4楽章

※演奏曲目、曲順は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

指揮: 川瀬 賢太郎
Kentaro Kawase
管弦楽: 横浜シフォニエッタ
Yokohama Sinfonietta
司会: 池辺 晋一郎・松尾 由美子(テレビ朝日アナウンサー)
Shinobu Ikenaga / Yumiko Matsuo

本日のコンサートの模様は「題名のいない音楽会」で放映される予定です。

2016年 9月 4日(日) 9:00～ 9:30 テレビ朝日
9月 11日(日) 23:00～23:30 BS朝日

受賞者・出演者プロフィール



川瀬 賢太郎 (指揮) Kentaro Kawase

1984年東京生まれ。私立八王子高等学校芸術コースを経て、2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに、ピアノ及びスコアリーディングを島田鈴子、指揮を広上淳一、汐澤安彦、ジョン・ミョンファン、アーリル・レンズライトの各氏に師事。2006年10月に行われた東京国際音楽コンクール(指揮)において1位なしの2位(最上位)に入賞。
各地のオーケストラから次々に招きを受けている。2012年1月には、細川俊夫作曲・平田オリザ演出、オペラ「班女」広島公演で指揮し、オペラデビュー。その後、細川俊夫作曲モノドラマ「大鴉」、オペラ「リアの物語」を指揮、喝采を浴びる。
海外においても2008年と2011年2月にイールド・フランス国立オーケストラと共演、また、2012年10月にはユナイテッド・インスティテュート・オブ・レジナルと細川俊夫作曲モノドラマ「大鴉」オランダ初演を成功させた。2015年9月にはひろしまオペラフェスティバル公演にてモーツァルト作曲オペラ「フィガロの結婚」を指揮、躍動感あふれる演奏を届けた。
2007年～2009年「パンフィク・ミュージック・フェスティバル(PMF)アシスタント・コンダクター」。
現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者、八王子ユース弦楽アンサンブル音楽監督、三重県いなべ市親善大使。2015年「道徳雄雄音楽基金」音楽賞、第64回神奈川文化賞未来賞を受賞。2016年第14回 齊藤秀雄メモリアル基金賞受賞。



藪田 翔一 (作曲) Shoichi Yabuta

1983年兵庫県生まれ。17歳より作曲を始める。2011年東京音楽大学大学院作曲科修了。これまでに作曲を有馬礼子、嵯峨富美子、西村朗、藤原豊、飯塚邦彦の各氏に師事。
2009年第78回日本音楽コンクール作曲部門2位入賞。
2010年第79回日本音楽コンクール作曲部門2位入賞。
2011年「トンボン・ピース・オブ・ザ・イヤー」2011作曲賞。
2011年第80回日本音楽コンクール作曲部門2位入賞。
2011年たつの市民奨励賞。
2012年京都フランスアカデミーメシアン賞。
2012年第81回日本音楽コンクール作曲部門2位入賞。
2013年ウィーンコンチエルトハウス100周年作曲賞最優秀作品賞(オーケストラ部門)
2013年ベルギー-SORODHA国際作曲コンクール1位入賞。
2013年カミエ・セロツキ国際作曲コンクール2位入賞。
2014年第3回クアア国際作曲賞 NEW NOTE2位入賞。
2015年第70回ジュネーヴ国際音楽コンクール作曲部門優勝。
2015年たつの市文化賞。
2015年兵庫県芸術奨励賞。
2016年文化庁長官表彰(国際芸術部門)。
第3回松岡国郎ピアノコンクール課題曲委嘱作曲家。
現代音楽の作曲を中心に、2014年に兵庫県たつの市で開催された龍野アートプロジェクトで舞台監督を務め、2015年には音楽監督、2016年よりたつのふるさと親善大使第1号に任命され、2016年5月より神戸新聞のコラム「随想」を執筆するなど、活動の場を広げている。2016年3月には、三木康風、中塚中、と、黒野晶子などの詩をもとに、CD「天女の歌声」を代々木アニメーション学院との共同製作によりリリース。



山根 一仁 (ヴァイオリン) Kazuhito Yamane

1995年札幌市生まれ。2010年中学校3年在学中に第79回日本音楽コンクール第1位、レウカディア賞、黒梅賞、夏見賞、若谷賞(聴衆賞)並びに全部門を通し最も印象的な演奏・作品に贈られる増次賞を受賞。同コンクールで中学生の1位は26年ぶりの快挙。
桐朋女子高等学校音楽科(共学)に全額免除特待生として迎えられ2014年首席卒業。
高校在学中より活発な演奏活動を開始し、これまでにバーミンガム市響、NHK交響楽団をはじめ国内主要オーケストラと共演を重ねる他、ベルリンフィル五重奏団、ヴェンゲ・ロフとの共演、トッパンホール「エスポワールシリーズ」に最年少で抜擢される等注目を集める。同シリーズでは2014年3月Vol.1/無伴奏アレグロ、2015年7月Vol.2/弦楽アンサンブル(ジュニョク、ショスタコーヴィチ、ヴィヴァルディ)いずれも圧倒的な演奏で満場の喝采を浴びた。2015年・16年東急ジルベスター、NHK「5から9まで」NHK-FM「名曲リサイタル」TV朝日「題名のいない音楽会」等、TVラジオの出演も多い。
2010年横浜市教育委員会表彰。2011年第60回横浜文化賞文化芸術奨励賞最年少受賞。若谷時子音楽財団「Foundation for Youth」賞/受賞。2010年～12年ヤマハ音楽振興会音楽支援対象者。2012年、13年ローミュージックファンデーション奨学生。2014年より江刺記念財団奨学生。2015年青山音楽賞新人賞受賞。これまでに故宮同高、水野佐知香両氏、桐朋女子高等学校音楽科(共学)及び同大学・リノスティディオマコース(全額免除特待)にて原田幸一郎氏に師事。
現在ドイツ国立ミューンヘン音楽・演劇大学に在籍。クリス・フ・ポッペン氏のもと、さらに研鑽を積む。

横浜シフォニエッタ Yokohama Sinfonietta

1998年、TOMATOフィルハーモニー管弦楽団として東京藝術大学内にて創立。
後に横浜シフォニエッタへと改称、横浜に活動拠点を置くプロフェッショナルオーケストラとして国内外で活発な演奏活動を展開している。
13年2月にはラ・フォル・ジュルネ発祥の地、フランスのナントへ日本の楽団として初めて招聘され、「フランスのオーケストラよりもフランスのサウンドがする」と好評を博した。14年9月にはアルジェリア国際交響楽フェスティバルにメンバーが招聘されるなど今後も海外での多くの演奏活動が予定されている。オリジナルレパートリーTOMATONEをはじめCD録音も多数あり、匿名のいない音楽会等のテレビ出演をはじめ、雑誌他メディアにも度々取り上げられるなど、世界の最先端を行くイノベーション・オーケストラとして注目を集めている。13年には功績が高く評価され横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。14年2月のサンタリー・ホール公演にて皇后陛下に御臨幸を蒙る。創立当初より音楽監督に山田和樹を擁する。



©Yokohama Sinfonietta

【コンサート・プログラム P.5～8】

プログラム・ノート

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」序曲

ウィーンで名声の絶頂を迎えていたヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト(1756～1791)は、1786年、ブルク劇場にて自らの指揮で歌劇「フィガロの結婚」を初演した。原作となったのはボーマルシェの喜劇「フィガロの結婚、または狂った一日」。小間使いのスズンが領主のアルマヴィヴァ伯爵から誘惑されるが、才気煥発な婚約者フィガロとともに伯爵を出し抜き、幸福な結婚に至る。台本作者ダ・ポンテは原作に込められた貴族社会批判をかわり、ウィーンでの上演許可を得た。

幕開けに演奏されるこの序曲は、オーケストラのコンサートでもしばしば演奏される人気曲。小気味よく軽快で、はちきれんばかりの喜びにあふれる。

(曲目解説：飯尾 洋一)

シューマン：交響曲第3番 変ホ長調op.97「ライン」より 第1楽章

1850年、ロベルト・シューマン(1810～1856)はドレスデンからデュッセルドルフへと活動の地を移した。ドレスデンで信望と友情に恵まれることがなかったシューマンは、新たな地位を求めてライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団の指揮者などさまざまなポストを打診するものの実現に至らず、紆余曲折を経てフェルディナンド・ヒラの後任としてデュッセルドルフ市音楽監督の職務を引き受けることを決意した。シューマンは音楽監督として、この地のオーケストラの定期演奏会を指揮することが求められることとなった。

上任して間もなく、シューマンはさくく新たな文藝者の作曲にとりかかった。デュッセルドルフのオーケストラのコンサートマスターを務めていたヴァジエリス氏によれば、シューマンがケルンの大聖堂を訪れた際に靈感を受けたことが、この新作を生み出すきっかけとなったという。作品は1851年にシューマン自身の指揮によって初演された。

曲は全楽章からなる。本日演奏される第1楽章は「生き生き」と指示される。序奏なしで登場する力強く雄大な冒頭主題は4分の3拍子で書かれ、この主題がヘミオラ(3拍単位のところを2拍単位で分割する)になっていることがリズムに変化を与え、大河の奔流を連想させる。

(曲目解説：飯尾 洋一)

荻田翔一：演奏会用組曲「風神雷神」

この曲は、依屋宗彦の「風神雷神図」を題材に、新たな物語を作り、歌舞伎役者の方々による舞を伴った舞曲として作曲された。初演は、風神役に片岡愛之助さん、雷神役に中村幸太郎さん、天女役にソプラノ歌手の阪田真理恵さんに演奏して頂きました。依屋宗彦の「風神雷神図」をテーマにしていますが、原画とは違った世界観を創造しました。今回は、その際に作曲した曲を、音楽のみで演奏出来るように、演奏会用組曲として新たに構成しました。

昨年は開演400年の記念の年でした。その事を記念して催された演奏会の演目として、日本の舞と西洋音楽のコラボレーションというコンセプトのもとに作曲させて頂きました。作曲にあたり、和楽器は用いないで、西洋楽器を使用し、また事前にシーン毎にテーマが与えられ、それに沿って作曲する形になりました。天女は原画には登場しませんが、新たなストーリーを作る中から生まれた登場人物です。天女には舞いは無く、また歌詞では無く、ア(母音)のみで歌うヴォカリーズで演奏します。初演時には、全11曲(約45分)の曲として作曲しました。今回は、その中から7曲を抜粋し、新たなオーケストレーションを加えて、演奏会組曲として作り直しました。

この組曲は7曲から成っています。

1. 序曲。風神雷神を呼び起こす音楽です。
2. 登場。打楽器のアンサンブルによる驚々しい音楽から始まり、リズムカルな舞曲の要素の強い音楽へと移行していきます。この曲は、風神雷神が登場し、舞うための音楽です。
3. 友愛。風神雷神の友愛を描いた悠長で重要な音楽です。
4. 舞。風神雷神が楽しく舞う音楽です。
5. 天女の序曲。風神雷神の世界から天女の世界への移行していくための音楽です。
6. 天女の歌。天女が登場し、ヴォカリーズを風神雷神に歌います。ここで登場する天女は、美しいだけでなく、風神雷神を導く力強さも兼ね備えています。
7. フィナーレ。天女がヴォカリーズを歌いフィナーレを迎えます。

この曲は、風神雷神、そして天女が作り出す様々な情景を想像して聞いて頂けると幸いです。

(曲目解説：荻田 翔一)

ショスタコーヴィチ：ヴァイオリン協奏曲第1番 イ短調op.77より 第3楽章、第4楽章

ドミトリー・ショスタコーヴィチ(1906～1975)がヴァイオリン協奏曲第1番の作曲に着手したのは1947年7月のこと。しかしその初演は1955年まで待たなければならなかった。

第二次世界大戦後に訪れた冷戦は、ソ連の芸術家たちにも大きな影響を及ぼすことになった。1948年、文化面の「粛清」をもよおす教育人民委員ジダノフは、ソ連の代表的作曲家たちをクレムリンに招集する。そしてムラデーリのオペラ「大いなる友情」を歴史的事実を歪曲しているとして厳しく批判するとともに、ショスタコーヴィチをはじめとする多数の音楽家たちが「形式主義的陰謀と音楽の反民主的傾向をもっと顕著に表している」として、「無個性、不協和音、騒音への礼賛」を非難した。

12年前のオペラ「ヴェニス公爵のマクベス夫人」に続いて、ふたたび批判にさらされることになったショスタコーヴィチは、「私は形式主義の方向へ逸脱し、人民に理解できない言葉でしゃべっていた。批判に深く感謝する」と、自己批判を強いられることになる。

表向きは党の要請に従ってオラトリオ「森の歌」等のプロバガンダ的な曲を書いたショスタコーヴィチだが、その一方で彼は芸術的な信念に従ってヴァイオリン協奏曲第1番を書き進める。しかし、この野心作を公表すればさらなる批判は免れようもなく、作品はいったんお蔵入りとなった。

1953年にスターリンが急逝すると、徐々に変化が訪れる。1955年、名ヴァイオリニスト、オISTRAフのアメリカ・ツアーの曲目として、この協奏曲が選ばれた。ツアーに先立って、オISTRAフの独奏とムラヴィンスキー指揮レニングラード・フィルハーモニー交響楽団の初演により、ようやく作品は日の目を見ることとなった。

曲は4楽章から構成され、本日は後半の2つの楽章が演奏される。

第3楽章 バッソ・カリア、アンダンテ。荘重で引きずるような主題で開始され、これに変奏が続く。楽章のおわりに長大なカデンツァが置かれ、切れ目なく終楽章に続く。

第4楽章 プレリューズ、アレグロ・コンプリオ。エネルギーで激しいフィナーレ。めまぐるしく曲想を変化させながら、熱狂的な終結部へと突き進む。

(曲目解説：飯尾 洋一)

出光音楽賞歴代受賞者(五十音順)

第1回 1991	伊東 寛 (作曲) 豊嶋泰嗣 (ヴァイオリン)	柿沼 唯 (作曲) 沼尻竜典 (指揮)	勝部 太 (ヴァオリン)
第2回 1992	坂井千春 (ピアノ) 原田 節 (ピアノ・ピアノ)	佐渡 節 (指揮) 向山佳絵子 (チェロ)	夏田昌和 (作曲)
第3回 1993	小野隆彦 (音楽ディレクター) 吉村七重 (二重奏)	横谷紀郎 (作曲) 若林 剛 (ピアノ)	竹澤恭子 (ヴァイオリン)
第4回 1994	菅美三子 (ソプラノ) 戸田弥生 (ヴァイオリン)	須田展也 (サックス) 長木誠司 (学術研究)	
第5回 1995	★オーケストラ・アンサンブル金沢 (オーケストラ) 大西順子 (ジャズ・ピアノ)	村治信雄 (ギター) 矢部達哉 (ヴァイオリン)	
第6回 1996	★白井光子 (ピアノ) 藤代敬彦 (作曲)	曾根麻矢子 (チェンバロ) 二村英仁 (ヴァイオリン)	
第7回 1997	★大野和士 (指揮) 根本大造 (ヴァイオリン)	見玉 純 (ピアノ) 浜田理恵 (ソプラノ)	
第8回 1998	伊左治直 (作曲) 竹松 舞 (ハープ)	木ノ崎道元 (フルート) 永野美樹 (ピアノ)	小沼純一 (学術研究)
第9回 1999	綿 剛之 (ピアノ) 西本智美 (指揮)	斎藤克正 (学術研究) 福井 敬 (チェロ)	佐藤美枝子 (ソプラノ)
第10回 2000	井原秀人 (ソプラノ) 鈴木大介 (ギター)	岩野新一 (学術研究) 古部賢一 (サックス)	庄司紗矢香 (ヴァイオリン)
第11回 2001	大井浩明 (ピアノ) 中村大祐 (指揮)	森 麻季 (ソプラノ)	
第12回 2002	岡田 智 (ピアノ) 下野竜也 (指揮)	藤村実穂子 (ピアノ・ピアノ)	
第13回 2003	神尾真由子 (ヴァイオリン) ジョン・健・スタッフ (ピアノ)	望月 京 (作曲)	

Winners

第14回 2004	川久保陽紀 (ヴァイオリン)	中嶋彰子 (ソプラノ)	松木貴志 (ジャズ・ピアノ)
第15回 2005	佐藤俊介 (ヴァイオリン)	中野翔太 (ピアノ)	横坂 淑 (チェロ)
第16回 2006	亀井良信 (サックス)	木下美穂子 (ソプラノ)	田村 繁 (ピアノ)
第17回 2007	菊池洋子 (ピアノ)	小倉 優 (ピアノ)	小山裕茂 (フルート)
第18回 2008	大萩康司 (ギター)	小沼雅子 (作曲)	米元響子 (ヴァイオリン)
第19回 2009	目下紗矢子 (ヴァイオリン)	藤崎和子 (ハープ)	谷口隆美 (ピアノ・ピアノ)
第20回 2010	荒松理子 (オーボエ) 宮田 大 (チェロ)	河村尚子 (ピアノ)	三浦文彰 (ヴァイオリン)
第21回 2011	片岡リサ (サ)	南 崇音 (ヴァイオリン)	山田和樹 (指揮)
第22回 2012	金子三勇士 (ピアノ)	塚越慎子 (マリンバ)	萩原麻未 (ピアノ)
第23回 2013	黒川 佑 (ヴァイオリン)	西村 悟 (フルート)	堀土マリ子 (ソプラノ)
第24回 2014	小林美樹 (ヴァイオリン)	成田達輝 (ヴァイオリン)	渡辺美帆 (作曲・指揮・ピアノ)
第25回 2015	岡崎文介 (ヴァイオリン)	本郷秀徳 (三味線)	三浦一馬 (バンド・ピアノ)
第26回 2016	川瀬賢太郎 (指揮)	荻田翔一 (作曲)	山根一仁 (ヴァイオリン)

(★第15回は、第5回～7回のみ受賞された「出光音楽賞」受賞者です。)